

令和5年度 第2回尾張旭市社会教育委員会会議録

- 1 開催日時
令和5年11月27日（月）
開会 午後1時30分
閉会 午後3時
- 2 開催場所
尾張旭市中央公民館 102会議室
- 3 出席委員
8名
- 4 欠席委員
2名（北角 富貴子委員、日比野壯貴委員）
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
教育部長 山下昭彦、生涯学習課長 鈴木直子、
図書館長 三浦明美、文化スポーツ課長 加藤剛、
文化スポーツ課主幹 周防康尚、
図書館長補佐兼図書館係長 小川由香里、
文化スポーツ課長補佐兼文化振興係長 加茂恵司郎
生涯学習課生涯学習係長 浅見貴子、生涯学習課公民館係長 戸田慎也、
生涯学習課生涯学習係 大久保裕太
以上10名
- 7 議題等
○報告事項
(1) 第29回尾張旭市生涯学習フェスティバルについて
(2) 令和6年尾張旭市二十歳の集いについて
(3) 公民館施設改修工事及び修繕について
(4) 公民館まつりの実施について
(5) 図書館事業の実施について
(6) 尾張旭市文化会館の指定管理者の指定について
(7) 第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会の参加報告
○意見交換について
テーマ「講座・部活動指導者等の募集について」
○その他
今後の予定について

8 会議の要旨

森 委 員 長	<p>現在の出席委員は、8名です。</p> <p>尾張旭市社会教育委員に関する規則 第4条にあります「委員の総数の2分の1以上」の要件を満たしておりますので、ただいまから、令和5年度第2回尾張旭市社会教育委員会を始めさせていただきます。</p> <p>この委員会は、会議公開制度により公開となっております。会議の傍聴とホームページ等による会議録の公開が行われますので、ご承知置きいただきますようお願いいたします。</p> <p>《<u>委員長あいさつ</u>》</p> <p>次に、山下教育部長からご挨拶をお願いします。</p>
教 育 部 長	(教育部長 挨拶)
森 委 員 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>本日の委員会は、報告事項が7件と、意見交換の実施、その他の事項となっております。</p> <p>報告については担当係ごとにまとめて報告していただき、質疑をはさんで、次の係の報告へという形で進めさせていただきます。</p> <p>まずは、報告事項(1)、(2)を生涯学習課生涯学習係からまとめて説明してください。</p> <p>なお、ご意見、ご質問等につきましては、説明が終わった後に、お願いいたします。</p>
生 涯 学 習 課 生 涯 学 習 係	報告事項 (1) 第29回尾張旭市生涯学習フェスティバルについて、(2)令和6年尾張旭市二十歳の集いについて、説明。
森 委 員 長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
水野副委員長	生涯学習フェスティバルとして実施する事業は毎年決まっているのか、毎年変動があるのか教えてください。
生 涯 学 習 課 生 涯 学 習 係	毎年全庁的に依頼文を出して事業を募集するため、開催する事業は毎年変動があります。
水野副委員長	一般の外部団体も生涯学習フェスティバルに事業参加は可能ですか。

生涯学習課 生涯学習係	外部団体を所管する部署から生涯学習課に依頼を出していただくことによって参加は可能です。例えば、国際交流会は多様性推進課を介して事業申込みをしていただくことにより、参加していただいています。
水野副委員長	市民ボランティア団体が申込みをする場合は、市民活動課を介して申し込む形になりますか。
生涯学習課 生涯学習係	市民活動課が所管する団体であれば、市民活動課を介して申し込んでいただく形になります。
浅野委員	尾張旭市二十歳の集いについて、他の中学校区と異なり旭中学校区のみ旭中学校の体育館という学校施設を使用している経緯と、昨年は集い終了後に学校から人が退出しないという問題が発生しましたが、その点については今年どのように対応されるか教えてください。
生涯学習課 生涯学習係	旭中学校区については、平成28年に変更になるまでは市民会館で式典を行っていましたが、市民会館の閉鎖に伴い、別の施設を検討することが必要になりました。その際、旭中学校体育館のほかに文化会館、スカイワードあさひ、新池交流館ふらっとなどの候補が上がりましたが、社会教育委員会や教育委員会で意見交換をした結果、旭中学校体育館で実施する運びになりました。
森委員長	昨年の問題点についてはどのように対応される予定ですか。
生涯学習課長	当日は市の応援職員を配置しますので、学校からの退出時間を守るように案内や誘導を進めていきたいと考えています。
浅野委員	来年度以降について、会場の変更を検討していただいているのでしょうか。
生涯学習課長	来年度以降については、他の施設、文化会館なども視野に入れて検討を進めていきたいと思えます。
若杉委員	法改正に伴って成人年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、尾張旭市では現在、20歳の人を対象とした「二十歳の集い」を実施しています。将来的にこのまま20歳の人を対象とした式典を継続していくのか、18歳の人を対象とした式典に変更する予定があるのか、市としての将来的な見通しをお伺いします。

生涯学習課長	<p>成人年齢が18歳に引き下げられ、教育委員会、社会教育委員会において式典を18歳で行うのか協議を行いました。</p> <p>協議の結果、多くの市町と同様、現行どおり20歳となる方を対象に開催することといたしました。</p> <p>18歳となる方に対しても、成人となって必要な行政情報を市ホームページなどに掲載して周知を図っており、引き続き周知を図ってまいります。</p>
本田委員	生涯学習フェスティバルの期間が今年度、例年よりも長いのはなぜですか。
生涯学習課長	<p>例年は2月上旬から3月上旬という約1か月間での開催をしていましたが、新型コロナウイルス感染症が流行したのを機に同時期に開催していた公民館まつりを3月下旬まで延長しました。</p> <p>その開催期間に合わせるような形で生涯学習フェスティバルの開催期間も延長しました。</p>
中道委員	生涯学習フェスティバルの事業である「令和5年度健康朝食メニュー展示」について市長賞や教育長賞はレシピを配布予定とありますが、どのように配布されるのでしょうか。
生涯学習課長	<p>担当部署が異なるので昨年度の様子をお伝えしますと、賞を獲得したレシピの展示とレシピが書かれた用紙を中央公民会展示ロビーに設置し、自由にそのレシピを持っていけるようにしていました。今年度も同様に配布されると思われれます。</p>
森委員長	<p>他によろしいですか。</p> <p>(特になし)</p> <p>では、次に報告事項(3)と(4)を生涯学習課公民館係から説明してください。</p>
生涯学習課 公民館係	報告事項(3)公民館施設改修工事及び修繕について、(4)公民館まつりの実施について、説明。
森委員長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
水野副委員長	公民館まつりの実施において、昨年度と変更点はありますか。
生涯学習課 公民館係	<p>新型コロナウイルス感染症が流行する前まで実施していた作品展示の実演体験を復活させ、4団体ほどが実演体験する事業の実施を予定しております。例えば、七宝焼きの体験や囲碁の体験を行う予定です。</p>

森 委 員 長	<p>他によろしいですか。</p> <p>(特になし)</p> <p>では、次に報告事項(5)を図書館から説明してください。</p>
図 書 館 図 書 館 係	報告事項 (5)図書館事業の実施について、説明。
中 道 委 員	「文化会館わくわく探検ツアー&おでかけ図書館」というイベントは、子どもたちのみで参加するイベントでしょうか。
図 書 館 図 書 館 係	小学生の子どもを対象とした子どものみで参加していただくイベントになります。
森 委 員 長	<p>他によろしいですか。</p> <p>(特になし)</p> <p>では、次に報告事項(6)を文化スポーツ課から説明してください。</p>
文化スポーツ 課 長	報告事項 (6)尾張旭市文化会館の指定管理者の指定について、説明。
森 委 員 長	<p>ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。</p> <p>(特になし)</p> <p>私から質問ですが、令和6年4月から指定する指定管理者は現在指定管理を依頼している団体とは異なりますか。</p>
文化スポーツ 課 長	同じ団体になります。
森 委 員 長	<p>では、次に報告事項(7)第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会の参加報告について説明させていただきます。</p> <p>大会の概要、大会において参加した分科会「地域の活性化について」説明。</p>
生涯学習課長	大会において参加した分科会「社会教育委員の役割と課題について」説明。
森 委 員 長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

水野副委員長	<p>社会教育委員としての考えになりますが、生涯学習課が主催する生涯学習フェスティバル、公民館まつりの中で行われる事業について、中学生、高校生や大学生という若年層が対象となっていない印象を受けます。他市町では学生ボランティアを取り入れた事業を行っているところも多々ありました。そのため、尾張旭市としても学生ボランティアの充実を図り、学生ボランティアとして若年層に生涯学習フェスティバルや公民館まつりに携わっていただき、若年層も携わっていただけるようにしていくことを検討していただければと思います。</p>
生涯学習課長	<p>現在、市民祭は中学生ボランティアを取り入れて行っておりますので、今後研究していきたいと思います。</p>
森委員長	<p>他によろしいですか。 (特になし)</p> <p>他にご意見、ご質問もないようですので、続きまして、次第の3、「意見交換」に移らせていただきます。</p> <p>テーマについて、社会教育委員の意見をお聞きしたいと思います。まず、社会教育委員の意見、アイデアをお聞きし、必要に応じ事務局からもコメントをお聞きしたいと思います。時間の都合もありますので、30分程度を目途に行いたいと思います。はじめに、事務局からテーマの内容について説明をお願いします。 事務局から説明してください。</p>
生涯学習課長	<p>意見交換テーマ「講座・部活動指導者等の募集について」説明。</p>
森委員長	<p>では、順番に御意見をお伺いします。</p>
浅野委員	<p>講座・部活動指導者等の募集に関連して部活動の地域移行について、現在、休日の部活動指導が課題となっています。</p> <p>部活動指導に関しては、平日は教員が、休日は外部指導員が指導するというような単純な住み分けができないため、市としてこのような募集をしていただけることはとてもありがたいです。ただ、申込みをした人が、教員との折り合いも含めて部活動にどのように携わっていくかという点を今後考えていかないといけないと感じました。</p> <p>また、部活動指導に意欲のある教員はぜひ申し込むべきだと考えます。平日は教員として指導し、休日は指導員として指導を行うことができますので、ぜひ申し込んでいただきたいと思いますと感じました。</p>
森委員長	<p>伺った御意見をもとに、何か御意見があればお願いします。</p>

水野副委員長	<p>浅野委員の発言の補足になりますが、東中学校では部活動時間が少ないため、子どもたちが自分たちで市の体育館を予約して個別に活動をしているという現状があります。</p> <p>その一方で、昔スポーツをしていた経験をもとに、子どもたちにスポーツを教える大人の方もおり、教える側の手が将来的にいなくなってしまうということにはならないと考えます。</p>
藤松委員	<p>部活動がなくなった場合、そのスポーツを教えてもらいたいという子はクラブチームに入って、クラブチームの指導者から指導を受けると思います。</p> <p>ただ、スポーツを教えてもらいたい気持ちはあるけども、クラブチームに入るほどの熱量がない子どもたちも一定数おり、その子どもたちに指導することを目的としたプロ化した有料の指導者を設けることがいいのではないかと思います。</p>
若杉委員	<p>旭小学校で棒の手クラブを発足させたのですが、そこで感じたのは、棒の手などの伝統文化に小学生の時からクラブ活動などを通じてふれあってもらうことが非常に大切、ということでした。</p> <p>スポーツに限らず伝統文化に触れあうことも含めて学校と協力しながら子どもたちを育てていければいいと思いました。</p>
長谷川委員	<p>指導者としての募集となると、多少自信がないと手が上がらないと思います。</p> <p>視点が変わってしまいますが、同好会の募集という形で市としてPRをしていけば、指導者募集に比べて敷居が低くなり、より多くの人にスポーツや様々なことに触れる機会が設けられると思います。</p>
中道委員	<p>学校運営協議会の委員に声掛けを依頼することが効果的だと思います。学校運営協議会の委員はPTA会長、おやじの会代表など様々な人脈を持っている方もいますので非常に効果的だと思います。</p> <p>また、1つ質問ですが、指導者として申し込んだ方には活動した場合、謝礼や交通費は支給されますか。</p>
森委員長	<p>学校側から部活動指導をお願いする場合には、謝礼の支払いはありますか。</p>
浅野委員	<p>市の会計年度任用職員として活動する形になるため、市から給与の支払いがあります。</p>

教 育 部 長	今回作成した「講座・部活動指導者登録申込書」では、部活動の外部講師と指導員を募集していますが、そのうち市の会計年度任用職員に該当する指導員には給与の支払いがあり、もう一方の外部講師には謝礼の支払いがあります。
本 田 委 員	内容の前に1つ質問ですが、他市町村の取組み状況はわかりますか。
生涯学習課長	今年10月より募集を開始したところであり、まだ他市町村へ取組み状況の聞き取りは実施していません。今後、本市での取組みの参考とするため、他市町村への聞き取りをしていきたいと考えています。
本 田 委 員	<p>分かりました。</p> <p>部活動の指導員を外部から募集するにあたって気を付けないといけないところがあります。部活動の指導方法は人や時代によって違いがあり、今の子どもたちと合わず、指導方法が子どもたちにとってハラスメントととらえられてしまう場合があるところだと思います。</p> <p>そのため、外部の指導員が指導をするにあたって、試用期間を設けるなどトラブルを未然に防ぐ対応をとる必要があると思います。</p>
森 委 員 長	<p>最後に私の意見ですが、技術を教えることができる若い人たちに、より講座・部活動指導者等の募集を知ってもらうという点を考え、ホームページに掲載するだけでなく、SNSやユーチューブを活用して情報を発信していくことが良いのではないかと思います。</p> <p>また、実際に指導員として指導する際、本田委員が言われたようなハラスメントが発生しないよう十分に注意を払いながら申込者を確認していく必要があると思います。</p> <p>現在の申込みチラシをずっと使用し続けるのではなく、SNSを活用した情報発信や同好会といったアイデアをもとに検討していき、今後の情報発信に反映させていくことが大切だと思います。</p>
森 委 員 長	続きまして、今後の予定について、事務局から説明してください。
生涯学習課 生涯学習係	4その他 今後の予定について、説明。
森 委 員 長	全体を通して、御意見等がありましたらお願いいたします。

本 田 委 員	<p>第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会の参加報告を踏まえてですが、若者の居場所について、近年不登校になる子どもが増えています。「何か嫌なことをされたから」ではなく、「学校にいても孤独を感じる」という理由で不登校になる子どもが増えており、20代に入ると回復して大学に通う人たちも出てきますが、30代になると学校になじめなかったことや家庭問題から回復が難しくなります。そういった人たちが一定数おり、その人たちの回復に向けた策を講じるのは、地域の人たちや行政の役割になってくるのではないかと思います。</p>
森 委 員 長	<p>子どもが立ち直れるように、周りの大人が立ち直れるだけの情報を子どもに与えて、その子の利益になる正しい道を示して、その道に子どもが進んでいけるように大人たちが支えていくということが、今できることではないかと思います。</p>
浅 野 委 員	<p>かつては「不登校＝悪いこと」というイメージがありましたが、最近はそういったイメージが変わりつつあります。そんな社会情勢の変化に応じて、学校の先生、地域の大人たちも自分たちが子どもだった頃の考え方で今の子どもたちと向き合うのではなく、情勢の変化に応じて考え方を変えていかなければならないと感じました。</p>
森 委 員 長	<p>他に何かご意見はありますか。 (特になし)</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日の社会教育委員会を閉会します。長時間にわたり、ありがとうございました。</p>